

## 9月1日は防災の日

### 災害に備えて、あなたができることは？

神崎町においても大きな被害をもたらした東日本大震災より、間もなく2年半が経とうとしています。また、最近では局地的な豪雨による浸水や土砂災害等も発生しています。

いっどこで災害に見舞われるかわかりません。被害を少しでも減らすためには、日頃の備えが重要です。

この機会に災害に対する備えや心構えを家族や地域で話し合うとともに、災害から自分たちの身を守るための対策を考えておきましょう。

#### 家族で防災会議を

会社や学校など外出先で地震に遭ったとき、どうやって家族と連絡をとりますか。いつ、どこで地震に遭っても、あわてずに行動できるように、次のようなことを確認しておきましょう。

- ・避難ルート、避難場所の確認
- ・家族の役割分担
- ・避難するとき、だれが何をもち出すか
- ・非常持出袋の置き場所
- ・NTT「災害用伝言ダイヤル171」の利用方法

#### 家の中を安全空間に

地震が発生したとき、転倒した家具の下敷きになって怪我をしたり、室内が散乱状態のために火災から逃げ遅れたりしてしまうことなどが考えられます。家の中を安全空間にするためには、次のような対策が必要です。

- 家具類やテレビ、冷蔵庫等が転倒しないように、家具をしっかり固定する。
- 照明器具が落下しないように、チェーン等で固定する。
- 窓ガラスの破片が飛び散らないようにガラスに飛散防止フィルムを張る。

棚の上には、重いもの、角のあるもの、ガラス製品をおかない。

#### 非常持出袋の中身を点検

避難するとき、とっさに必要な物を持ち出せるよう、リュックサックなどにまとめ、非常持出袋として備えておくことが大切です。非常持出袋は目につきやすいところに置きましょう。

袋の中身をときどき点検するのを忘れずに。使用期限などを確認して、中身を入れ替えるようにしましょう。

#### 神崎町防災マニュアルの活用を

昨年12月に町内全戸に配布した「神崎町防災マニュアル」を活用して、災害への備えに役立ててください。災害時の対応として、情報伝達や避難情報の確認、避難所に関する内容等が記載されています。



### 防災行政無線を用いた

#### 全国一斉の緊急情報伝達試験を

#### 9月11日に実施

町では、地震・津波や武力攻撃などの災害時に、全国瞬時警報システム（JALERT）を用いて送られてくる国からの緊急情報を、さまざまな情報伝達手段で確実に町民の皆さんへお伝えするため、町内で緊急情報伝達試験を実施します。

情報伝達手段で試験が実施されます。

JALERT（ジエイアラート）とは全国瞬時警報システム（JALERT）とは、津波や地震など対処に時間的余裕のない事態が発生した場合に、通信衛星を用いて国から情報を送信し、市町村の防災行政無線を自動起動するなどして、住民に緊急情報を瞬時に伝達することが出来ます。

#### 情報伝達試験放送

- 日時 9月11日 水
- 11時、11時30分の2回実施
- 方法 町内に設置してある防災行政無線から、定時放送と同程度の音量で一斉に放送
- 内容 「これは試験放送です」x3 「こちらには、ぼうさいこうざきです」 防災行政無線チャイム
- 神崎町以外の地域でも、全国的にさまざまな情報伝達試験が実施されます。

緊急情報伝達試験に関するお問い合わせは、役場総務課管財係 72 2 1 11

防災行政無線情報メールへの登録をお願いいたします。登録方法は次のページに掲載してあります。